

# SO REPORT

「SO」による活動内容報告

No.02

## SO Sustainability Officer

CSR・SDGsチーム  
サステナビリティ・オフィサー「SO(ソー)」



## SUENAGAグループ全体の取り組み

### オリジナルラッピングウォーターの導入

昨年、SUENAGA GroupはCSR/SDGsに取り組むことを表明しました。私たち「SO」はグループのスローガンである「Challenge and Change」をモットーに持続可能な社会の実現に向けて、地域のために、何ができるかを日々考えております。

今までにグループ各社が発表した取り組み以外にも、多くの業務がSDGsへとつながっています。一人一人が意識をすることで、SUENAGA Groupというスケールメリットを活かした取り組みにも今後展開していけるのではないかと考えています。全体取組の第一弾としては、再生ペットボトルを使用したSUENAGA Groupのオリジナルラッピングウォーター導入です。

目的は、SUENAGA Groupのロゴを全面的に施すことで来場者や関係先への「SUENAGA Group認知拡大」や呈茶などのお飲み物を準備することに関係する「業務効率・生産性向上」、そして今回のような再生ペットボトルを使用することによる「SUENAGA GroupはSDGsへ積極的に取り組んでいることの植え付け」です。

また、近年では災害が頻発していますので、その際の救援物資としての活用もできるかと思えます。

### 今後のスケールメリットを活かした取り組み

その他にも、スケールメリットを活かした取り組みも検討しており、現段階では大きく3つのカテゴリーを選定し、深掘りを行っています。

「環境や生物を守る」活動、「地元伝統文化の継承」をするためのイベント開催、そして「健康経営」への取り組みなどです。例えばですが、社員の健康を考えた社員食堂の移動販売で岡山トヨペットが車両を仕入れ、トヨタレンタリース新岡山で自動車リース契約をし、トヨタホーム岡山が製作したキッチンカーを運営していくなど、各社の特徴を活かせるよう考えています。具体的な施策立案が決定すれば、改めて発表させていただきます。



### 企業がSDGsに取り組む理由

現在、SDGsに取り組む企業が増えている背景には、企業がSDGs達成に無関心でいると、経営に様々な悪影響が出ることが予想されています。環境や社会をかえりみない企業だと思われれば、消費者にも避けられてしまうかもしれません。

また、近年では教育の場でSDGsについて触れる機会も増え、採用面接で応募者から「御社はどのようにSDGsに取り組んでいますか」と聞かれたとき明確に答えられなければ、社会課題の解決に取り組んでいないとみなされてしまいます。優秀な人材程、SDGsへの興味関心は高いと言えるでしょう。結果、企業のイメージが悪くなり優秀な人材を確保することも難しくなるのです。

SOメンバーでもSUENAGA Groupが何のためにSDGsに取り組むのか話し合ったところ、「SUENAGA Groupにしかできないことに挑戦したい」「岡山の企業グループとしての認知度・企業価値向上」「家族や友人に自慢できる会社」そして、「いつまでも働きたいと思える会社にした」といった意見が上がりました。

一見、SDGsとの紐づきは遠いように感じるかもしれませんが、この気持ちが私たち働く従業員のモチベーションになっていると思います。自分たちが働く会社をもっと良くしていきたいと、SUENAGA Groupのスローガンでもある「Challenge and Change」のように変化を恐れず、何事にも挑戦していくグループであり続けたいです。

これからもSOの活動にご理解とご協力を宜しくお願いします。



### Check

オリジナルラッピングウォーターの下部分にSUENAGA Group各社のロゴマークが入っています。

オリジナルラッピングウォーターは1/20運用開始!